



長崎大学協力病院の研修もGOOD



今回は、1年目の研修を協力病院で終えて、長崎大学へ戻ってきた6名の研修医2年次の皆さんにインタビュー！

濱田：原爆病院を選んだ理由を教えてください。

野中：垣根を越えていろいろな症例を診れるのは、大学病院より市中病院のほうが融通がきくのかなと思って、原爆病院での研修を希望しました。

濱田：実際どうだった？

野中：内科から始まったんですが、内科研修の時に外科の当直で外科の手技（縫合）をしたり、外科研修の時に、内科で入院した人の経過を担当している研修医の先生に聞いて、どういう経過をたどったのかというような内科の勉強もさせてもらったりできました。

濱田：充実していたみたいですね。手技はどうでしたか？

野中：そうですね。結構させてもらったと思います。

濱田：2年目の目標は？

野中：忙しさにかこつけてあんまり教科書的な勉強をしていなかったもので、そういう勉強や文献検索のスキルを身に付けること等にも力を入れていきたいと思っています。

濱田：EBMの実力アップセミナーも行っています。DynaMedやUpToDateも使ってね！

長崎原爆病院にて研修



野中 俊章先生

TOSHIAKI NONAKA

長崎原爆病院にて研修



浅井 幸先生

MISACHI ASAI

濱田：どうして1年目を原爆病院で研修しようと思ったの？

浅井：私は学生時代卓球部に所属していて、先輩方が原爆病院を選択される方が多かったので、私も原爆病院で研修しようと思いました。

濱田：実際行ってみてどうだった？

浅井：「すごく忙しくてきついよ」と聞いていたので、行く前は「どうなるかな？」と不安に思っていたんですが、なんとか頑張れました。

濱田：やっぱり忙しくてきつかった？

浅井：そうですね。受け持ちの患者さんにもよるんですけど、重症の患者さんの時は大変でした。

濱田：何か去年も同じことを聞いたような・・・じゃあ、逆に楽しかったことはある？

浅井：研修医同士の仲がすごく良くて、みんなでよく飲みに行ったりとかしましたね。

濱田：そういう時間があるなら良かった。他に印象に残ったことってある？

浅井：皮膚科を選択で2ヶ月回らせてもらった時に、ずっと外来で指導医の先生の横につかせていただいたんです。研修医が外来をする機会ってあまりないと思うんですけど、すごく楽しかったです。

濱田：それはすごいことしたね。じゃあ、かなりの症例を診れたんじゃない？

浅井：そうですね。薬の使い分け等、すごく勉強になりました。

濱田：2年目の目標ってありますか？

浅井：1年目は上の先生に頼ってすぐ相談していたので、2年目は一人立ちできるように準備ができたらいいなと思います。

濱田：頑張ってるね！あと1年目にいろんなことをメモしてきたと思うけど、できたらそのメモをまとめる作業をしておいた方がいいと思うよ。僕も研修医時代にまとめたノートは今でも見返す時があるんだよね。

長崎原爆病院にて研修

濱田：原爆病院の研修はどうだった？

松本：研修医が10名と少なかったこともあり、研修医同士がすごく仲良かったんです。研修医室が病棟と近く、研修医室に戻る時間も多かったので、わからないことを聞いたり、患者さんの情報を共有して、いろいろと考えることができました。ある意味2年目の先生が指導医になってくれた部分もあって、すごく楽しかったです。みんなでキャンプとかにも行きました。

濱田：それは良かった！ところで、指導医の先生はどうだった？

松本：大学はすぐ聞ける若手の先生がたくさんいるけど、原爆病院では、かなり上の先生がオーベンになったりするので、聞きづらいということもありました。だけど、研修医のことを気にかけて下さる先生もたくさんいて、困っている時などは別のカルテを書いていても「何を悩めるの？」等と声をかけてくださいました。医局が別れていないので、診療科関係なく他の先生もフォローしてくださり、すごく聞きやすい環境でした。

濱田：そうか。じゃあ今年は2年目になるので、松本先生が教えてもらったように、1年目の先生達を指導してあげてね。

松本：できる範囲で頑張ります！



松本 彩先生

AYA MATSUMOTO

長崎市民病院にて研修



道津 洋介先生

YOSUKE DOUTSU

濱田：1年目は長崎市民病院での勤務だったけど、どうして1年目で外病院での研修を希望したの？

道津：まず、市中病院で common disease を診たうえで、2年目でより専門的な事を研修しようと思い、市民病院での研修を希望しました。

濱田：市民病院での研修はどうだった？

道津：そうですね。1年あつという間に過ぎたような気がします。研修医が少なく、みなさんが親切にしてくださいました。

濱田：1年を振り返って何か印象に残ったことはある？

道津：当直ですね。普通は月に3~4回で、救急部を回っている時は5~6回当たりました。大学病院だと研修医の当直はないと思いますが、最初はすごくドギマギしました。

濱田：今年度の1年目の先生から当直するようになったんだよ。今後の目標ってある？

道津：担当の患者さんがたくさんいると、時間があまりなくて、それぞれの疾患をしっかり勉強できたのかな？という部分もあります。なので、今後、カンファ等でしっかり勉強していきたいと思います。

濱田：実力アップセミナーとかも開催しているので、積極的に参加して頑張ってください！！

濱田：諫早での研修はどうでしたか？

金村：すごく勉強になりましたね。私は最初に6ヶ月内科だったんですが、本当に幅広く診せていただきました。幅が広い分、内容は浅かったかもしれませんが、研修医の間は手技がどうか、一つの疾患がどうかというよりも、いろんな先生方のいろんな物の見方、考え方、患者さんとの接し方、どういう内容を話すのか等を学ぶ機会だと思うので、そういう意味では健康保険諫早総合病院は良かったと思います。

濱田：なるほどね。いろんな先生と出会うって大事だね。他に何か印象に残っていることはある？

金村：初めて長崎に来て、諫早で研修したんですけど、オリエンテーションのときの集合写真の顔を見ると、不安で本当に顔が強張っていましたね。それでも、「1年間諫早で研修して良かった！」と思えたことがすごかったです。

濱田：全然知らない土地に来たからね。どうして長崎で研修しようと思ったの？

金村：研修医の間は自由に勉強できるから、被爆者医療がやりたいと思って長崎に来ました。もともと広島県出身なので、小さい頃から原爆の話の聞いたりして興味があったんです。

濱田：是非、本院の国際ヒバクシャ医療センターの先生に話を聞いて下さい！

健康保険諫早総合病院 にて研修



金村 さやか先生

SAYAKA KANEMURA

濱田：健康保険諫早総合病院での研修は、どうだった？

徳山：楽しかったというのが第一印象ですね。とても充実していたと思います。内科を6ヶ月回ったんですが一気に回るので、いろんな診療科を診れたし、市中病院なので手技をたくさんやらせていただけたことが良かったです。ただ、逆に範囲が広すぎて勉強がおろそかになる点がデメリットかなあ~とは思いましたが。

濱田：患者さんは、平均どれくらい受け持っていたの？

徳山：内科では平均10人前後で、多い時は15人位ですね。各科の症例をバランスよく受け持つことができました。また、私は外科には向いてないんじゃないかという先入観があったので、麻酔科を回ったときはドキドキしましたが、すごく良く教えていただきました。

濱田：2年目の目標ってある？

徳山：2年目の目標は、進む科を決めることですね。あとは、1年目は忙しすぎて疑問に思っても後回しにしていたら、誰もが最初に疑問に思う根本的なことを疑問のままに残してきているので、自分で解決できるように勉強したいと思っています。

濱田：DynaMed や UpToDate 等の文献検索も充実してるし、本や DVD もキャリア支援室や研修医室にあるので、是非利用してがんばって！

健康保険諫早総合病院 にて研修



徳山 鮎子先生

AYUKO TOKUYAMA



今年度は44名の研修医の先生が仲間入り♪
一緒に頑張りましょう！！

医師育成キャリア支援室行事予定

第11回 長崎・佐賀
若手医師のための実力アップセミナー
~心電図道場~



日 時：平成23年4月30日(土)
13:00~17:00

場 所：長崎大学病院 第四講義室

対象者：長崎・佐賀の初期研修医、若手医師
参加費：500円

長崎大学病院 医療教育開発センター 医師育成キャリア支援室

TEL:095-819-7847 FAX:095-819-7882

MAIL:career@ml.nagasaki-u.ac.jp

URL:http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/career/

「長崎大学」「キャリア支援室」でも検索できます

BLOG:http://careerngs.exblog.jp/